

# 森林保護から地域貢献へ



高知市立高知商業高等学校  
ジビエ商品開発・販売促進部

## 2024年度テーマ： ジビエ部の存在を最大限に活かした地域貢献活動

### 1.ジビエ部の創造する循環型森林保護プロジェクト

#### 1 現状把握

高知県の森林率は84%で全国1位。  
一方、野生鳥獣による森林の被害総額は年間1億円を超える。  
高知県の豊かな森林資源を未来に残すために何ができるか。

#### 2 活用

野生鳥獣をジビエとして利活用し「いただく」で森林保護を実現。  
森林の保護と共に、販売を通してジビエとしての価値を発信。  
地域貢献としての意義も創造。

#### 3 還元

販売活動を経て得た利益を、「三嶺の森をまもるみんなの会」に寄付。また、森林保護活動にも参加し、森林の現状を把握。  
持続可能な社会を目指す。

### 2.ジビエ部の地域貢献活動

#### 【ペットフード事業】

モモ肉、肺、ハツ、レバーといった鹿肉の部位をジャーキーに加工したもの、アキレス腱を使ったガム、ふりかけ、足骨など、幅広い商品をペットフード事業へと展開し、2023年度より発売開始。

人間が食べられない部位をペットフードとして活用することで、**廃棄部位を削減**し、持続可能な資源活用に貢献。

すべての商品が完全無添加であることから、ペットの健康を考えたお客様からも高い支持を受け、販売開始以降の売上合計金額は**1,763,900円**（※2024年10月中旬時点）を達成。

鹿肉の豊富な栄養を活かし、ペットの健康に寄り添った商品として高く評価される。



#### 【こども食堂】

地域貢献とジビエの普及を目指し、地元商店街などでこども食堂を開催。鹿肉を使用したカレーを中学生以下は無料、大人は500円で提供し、**地元商店街の活性化と幅広い世代へのジビエの認知向上**に取り組んだ。

活動を通じて、小さな子どもたちもジビエを味わうことで、高知県の森林を守ることに貢献できていることを実感し、野生動物の存在や自然環境について考えるきっかけとなる「**食育**」の場にもなった。

さらにこうした取り組みから繋がり、地元小学校バザーでも鹿肉カレーの販売を実施。他県の高校生の活動である**廃棄予定のリンゴ**も活用し、食品の有効活用や高校生同士の交流も実現した。

地域や他校の協力により、多くの人に支えられながら、幅広い世代にジビエの魅力と環境保護への意識を伝える場が広がっている。



#### 【高知市卸売市場】

2024年度から高知市卸売市場での販売を開始。主な目的は一般のお客様が少ない市場を活性化し、**高校生の力で新たな賑わいを創出**すること。6年間積み重ねたジビエ部としての経験・学びを活かし、地域への貢献に向けた新たな挑戦である。

しかし、解決に至らない課題も多く残っている。今までの活動で築いた**企業や他校の方々との関係**を強みに、新たな地域の魅力を創造していきたいと考える。



### 3.ジビエ部のその他の活動

#### 【高校生ジビエ・レストラン】

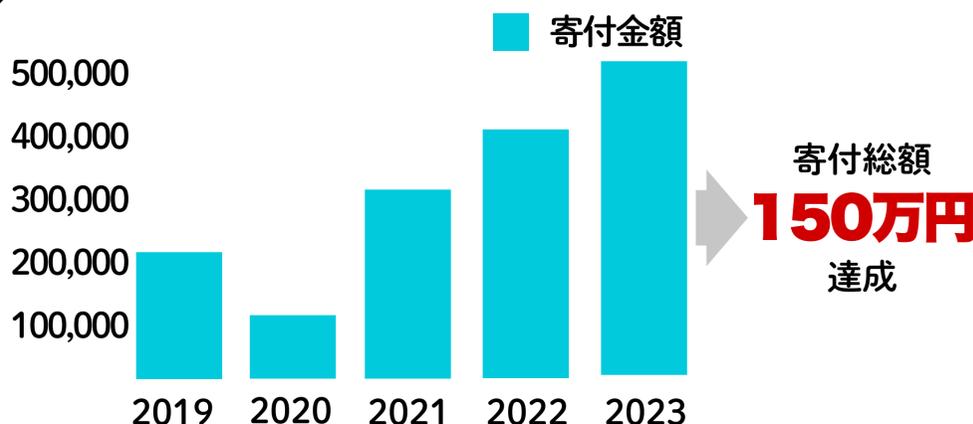
高知市役所内のレストラン「せんだんの木」で期間限定の「**高校生ジビエ・レストラン**」をオープン。

ジビエ料理の調理と販売を行い、ジビエの魅力や野生鳥獣被害の現状を紹介するパネル展示も実施。

**1食につき100円**を森林保護活動に役立てている。



### 4.森林保護活動団体への年次推移ごとの寄付金額



**2024年度は600,000円寄付予定**